



関屋ゆかりの 現代書への道のり

ここ関屋の地に居住していた書家・吉田六嶺
全国で活躍し、新潟県書壇を牽引した
その人物と専門性の高い書芸術を探訪します

よしだ りくれい
吉田 六嶺(本名・行雄) (1932-2008年)

埼玉県生。新潟大学芸能科書道科卒。石橋犀水に師事。中央では日本書道教育学会、また県下では新潟県書道協会、新潟県美術家連盟等で活躍。師・犀水の提唱した「新和様」書の理念のもと、ことばと表現の一体化、時代に合致した書風を展開した。

講演会

講義 「関屋ゆかりの現代書への道のり」新潟大学教授 おかむら ひろし 岡村 浩さん

日時 令和 7年 10月 11日(土) 午後2時から午後4時まで

会場 関屋地区公民館(3階・ホール)

定員 50人(先着) 申し込みは不要です。直接会場へお越しください。

展示会

吉田 六嶺の作品・資料を展示します

日時 令和 7年10月11日(土)・12日(日) 午前9時から午後5時まで

会場 関屋地区公民館(1階・和室) ※12日(日)は午後4時まで

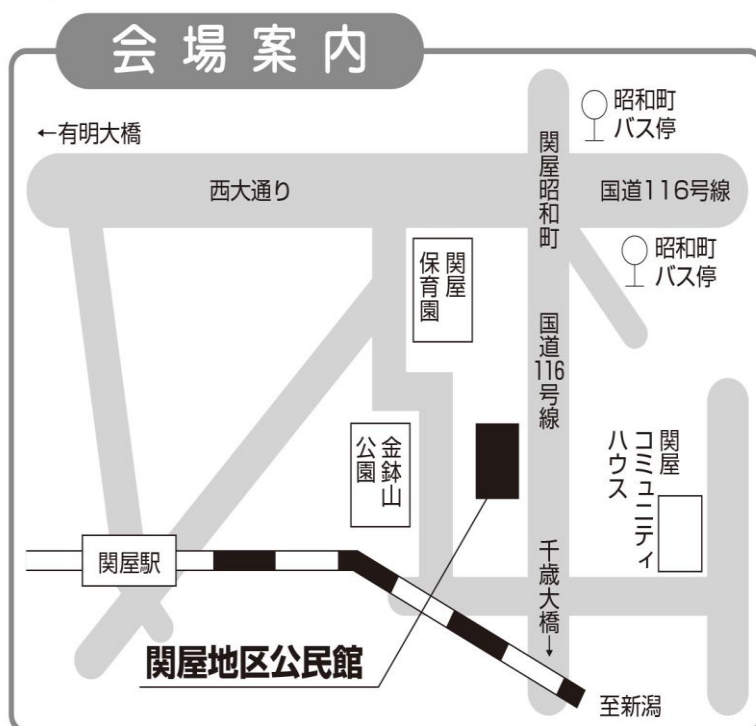
入場 無料(ご自由にご覧ください)

講師紹介

おかむら ひろし てっきん
岡村 浩 (岡村 鉄琴)さん

新潟大学教授・越佐文人研究会代表

新潟日報で2021年12月から24年
5月まで「看板 体を表す」を連載



バス

(信濃町線・西小針線・有明線)
昭和町バス停から 徒歩3分

J R

(越後線)
関屋駅から 徒歩10分

駐車台数が限られています。公共交通機関ご利用のご協力をお願いいたします。

お問い合わせ

新潟市 関屋地区公民館 025-266-4939

〒951-8164 新潟市中央区関屋昭和町3丁目148番地1